

評価対象年度	平成25年度	施策評価シート(震災復興用)		政策	7	施策	4
施策名		4 安全・安心な地域社会の構築		施策担当 部局	環境生活部, 警察本部		
「宮城県震災復興計画」における体系		7 防災機能・治安体制の回復 【防災・安全・安心】		評価担当 部局 (作成担当 課室)	警察本部 (総務課)		

施策の方向 (「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画」の行動方針)	①警察施設等の早期機能回復及び機能強化 ◇ 震災により壊滅的な被害を受けた警察施設の復旧・強化を図るとともに、津波により流出した各種装備品を整備し、治安・防災体制の回復・充実に努める。
	②交通安全施設等の早期機能回復及び機能強化 ◇ 震災により甚大な被害を受けた交通安全施設について、道路の復旧に合わせて、震災に強い交通安全施設を早急に整備し、安全かつ円滑な交通環境を確保する。 ③防犯・防災に配慮した安全・安心な地域社会の構築 ◇ 安全・安心な地域社会の構築を図るため、各種広報手段による積極的な生活安全情報の提供に取り組むとともに、被災地を中心としたパトロール活動を強化するほか、防犯ボランティア活動の促進・活性化を図る。

決算(見込)額 (千円)	年度	平成23年度 (決算額)	平成24年度 (決算額)	平成25年度 (決算(見込)額)
	県事業費	3,164,994	2,197,172	1,751,793

※決算(見込)額は再掲分含む

目標指標等 ■達成度 A:「目標値を達成している」(達成率 100%以上) B:「目標値を達成しておらず, 達成率が80%以上100%未満」 C:「目標値を達成しておらず, 達成率が80%未満」 N:「実績値が把握できない等の理由で, 判定できない」 ■達成率(%) フロー型の指標: 実績値/目標値 ストック型の指標: (実績値-初期値)/(目標値-初期値) 目標値を下回ることを目標とする指標: (初期値-実績値)/(初期値-目標値)		初期値 (指標測定年度)	目標値 (指標測定年度)	実績値 (指標測定年度)	達成度 達成率	計画期間目標値 (指標測定年度)	
	1	刑法犯認知件数(件)	24,614件 (平成22年)	19,200件以下 (平成25年)	19,367件 (平成25年)	B 96.9%	19,200件以下 (平成25年)

平成25年 県民意識調査	満足群の割合 (満足+やや満足)	不満群の割合 (やや不満+不満)	満足群・不満群 の割合による 区分
	42.6%	19.1%	Ⅱ

※満足群・不満群の割合による区分

- I: 満足群の割合50%以上
かつ不満群の割合25%未満
- II: 「I」及び「III」以外
- III: 満足群の割合50%未満
かつ不満群の割合25%以上

■ 施策評価（原案）		概ね順調
評価の理由		
目標指標等	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の治安情勢は、刑法犯認知件数が平成14年から12年連続で減少したが、年代別平均で最も少ない昭和50年代に比べいまだ高い水準にある。 	
県民意識	<ul style="list-style-type: none"> ・当該施策に係る平成25年県民意識調査結果は、高重視群が75.3%と高いが、満足度の「わからない」も38.3%と高い値であり、県民にあまり理解されていないと思われる。 ・沿岸部における不満群の割合18.1%は24施策中22番目であり不満度は低いものの、県全体の満足群の割合42.6%は24施策中9番目であることから、県民が施策に対し十分満足しているとは言えない。 	
社会経済情勢	<ul style="list-style-type: none"> ・刑法犯認知件数は減少しているものの、県民に不安を与える窃盗犯が増加傾向にあるほか、女性・子どもに対する声がけ等の脅威事案や高齢者などを狙った振り込め詐欺が急増するなど、県民が肌で感じる体感治安は改善しているとはいえない。 	
事業の成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・被災した警察施設（使用不能施設を除く137か所のうち、H24年度までに135か所、H25年度に2か所復旧）の増改築（復旧工事・修繕等）が完了したことにより、安全・安心な地域社会を構築できる警察活動を推進した。 ・防犯ボランティア活動促進事業については、平成26年1月、防犯ボランティア73団体参加による「平成25年度防犯ボランティア地域交流会」を開催、自治体を含めた各団体の事例発表、意見交換が行われたほか、NPO法人代表による地域コミュニティ再生の基調講演を実施した結果、団体間の更なる連携が図られ、概ね順調に活動促進が図られた。 ・情報発信事業について、仮設住宅における犯罪被害やトラブル防止を目的として、全住戸に対して防犯チラシを配布するとともに、仮設住宅の若年世帯を対象に防犯ブック「ストーカー・DV被害に遭わないために」を配布するなど、防犯情報や安全・安心情報の提供を通じて被災住民の安全・安心の確保を推進した。 ・コンクリート製信号柱の折損による二次被害を防止するため、信号柱の鋼管柱化改良（113本）、信号灯の節電、軽量化を図るため、灯器LED化改良（344灯）、交通信号機用電源付加装置の設置（69基）をするなどして、被災地等の交通安全対策を推進した。 	

※ 評価の視点： 目標指標等、県民意識、社会経済情勢、事業の実績及び成果等から見て、施策に期待される成果を発現させることができたかという視点で、総合的に施策の成果を評価する。

施策を推進する上での課題と対応方針（原案）	
課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> ・被災地域における街区の復興、集団移転促進の進捗に合わせ、警察施設を復旧する必要がある。 ・仮設住宅での不自由な生活が長引く中、ストレスに起因した暴行・傷害事件等各種犯罪の質的・量的悪化が懸念されるほか、振り込め詐欺を始めとした特殊詐欺の増加も懸念される。 ・被災地域における街区の復興に伴い、総合的な交通規制が必要である。 ・復興事業に伴う交通量の増加等による交通事故の多発及び復興に便乗した犯罪の増加が懸念される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町の復興状況を注視しながら、被災して使用不能となった警察施設の本復旧を推進する。 ・仮設住宅の立ち寄りや巡回連絡等により、住民のニーズを把握し、被災地における安全・安心の更なる醸成とタイムリーな情報発信を図る。 ・被災地をはじめ、事件事故等の多発地域におけるパトロール活動及び駐留警戒を強化する。 ・集団移転促進事業などによる街区の整備に伴う総合的な交通規制を具現化するため、被災市町と連携して交通安全施設の整備を推進する。 ・自治体や関係機関と連携しながら、更に効果的な交通安全教育を推進し、交通事故の減少を図るほか、暴力団等の反社会的勢力の復興事業からの排除と取締り強化を図るなど、県民の生活基盤やサービス等が犯罪に悪用されにくい環境づくりを推進していく。

評価対象年度 平成25年度

政策 7 施策 4

目標指標等の状況

■達成率(%) フロー型の指標: 実績値/目標値 ストック型の指標: (実績値-初期値)/(目標値-初期値)
 目標値を下回ることを目標とする指標: (初期値-実績値)/(初期値-目標値)

1	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26
	刑法犯認知件数(件)	指標測定年度	H22	H23	H24	H25	-
[目標値を下回ることを 目標とする指標]	目標値	-	23,500	23,500	19,200	19,000	
	実績値	24,614	20,605	19,561	19,367	-	
	達成率	-	359.9%	453.6%	96.9%	-	

目標値の 設定根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の刑法犯認知件数は、昭和21年以降年代別に10年単位で比較すると、昭和50年代の平均17,819件が最低となる。よって、平成24年から10年間で昭和50年代の17,000件台を目指すこととして、平成24年から5年後の平成29年までに全刑法犯認知件数を18,000件以下とすることを目標とし、前年の件数を上回ることはないよう、減少傾向の更なる定着化を図るものである。
実績値の 分析	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年中の刑法犯認知件数は19,367件となり、目標値である19,200件以下を達成することはできなかったが、前年比マイナス194件となり、平成14年から12年連続で減少させることができた。 ・昭和50年代の平均17,819件に比べ、いまだ高い水準にある。
全国平均 値や近隣 他県等と の比較	<ul style="list-style-type: none"> ・全国の刑法犯認知件数は、平成20年の1,818,023件から平成25年は1,320,678件に、率にすると約27.4%減少しているのに対し、宮城県においては平成20年の28,583件から平成25年は19,367件に、率にすると約32.2%減少している。

評価対象年度 平成25年度

政策 7 施策 4

県民意識調査結果									
調査実施年度 (調査名称)			平成24年度 (平成24年県民意識調査)		平成25年度 (平成25年県民意識調査)		平成 年度 (平成 年県民意識調査)		
県 全 体	この 施策に 対する 重視 度	重 要	高重視群 の割合	38.9%	76.6%	36.8%	75.3%		
		やや重要		37.7%				38.5%	
		あまり重要で はない	低重視群 の割合	7.6%	9.3%	8.1%	9.5%		
		重要ではない		1.7%				1.4%	
		分からない		14.1%		15.2%			
		調査回答者数		1,940		2,007			
	この 施策に 対する 満足 度	満 足	満足群 の割合	7.1%	39.8%	8.6%	42.6%		
		やや満足		32.7%				34.0%	
		やや不満	不満群 の割合	15.6%	21.6%	14.6%	19.1%		
		不 満		6.0%				4.5%	
		分からない		38.6%		38.3%			
		調査回答者数		1,915		1,978			
沿 岸 部	この 施策に 対する 重視 度	重 要	高重視群 の割合	37.9%	76.8%	38.2%	76.6%		
		やや重要		38.9%				38.4%	
		あまり重要で はない	低重視群 の割合	7.2%	9.2%	7.8%	8.9%		
		重要ではない		2.0%				1.1%	
		分からない		13.9%		14.5%			
		調査回答者数		796		812			
	この 施策に 対する 満足 度	満 足	満足群 の割合	5.8%	39.0%	9.1%	43.0%		
		やや満足		33.2%				33.9%	
		やや不満	不満群 の割合	14.9%	21.3%	12.9%	18.1%		
		不 満		6.4%				5.2%	
		分からない		39.6%		38.9%			
		調査回答者数		777		805			
内 陸 部	この 施策に 対する 重視 度	重 要	高重視群 の割合	39.6%	76.5%	35.3%	74.4%		
		やや重要		36.9%				39.1%	
		あまり重要で はない	低重視群 の割合	7.9%	9.4%	8.4%	10.1%		
		重要ではない		1.5%				1.7%	
		分からない		14.2%		15.5%			
		調査回答者数		1,137		1,160			
	この 施策に 対する 満足 度	満 足	満足群 の割合	8.0%	40.3%	8.2%	42.4%		
		やや満足		32.3%				34.2%	
		やや不満	不満群 の割合	16.1%	21.8%	15.8%	19.6%		
		不 満		5.7%				3.8%	
		分からない		37.8%		37.9%			
		調査回答者数		1,131		1,142			

※ 沿岸部 : 沿岸15市町
内陸部 : 沿岸部以外の市町村

評価対象年度	平成25年度
--------	--------

政策	7	施策	4
----	---	----	---

宮城県震災復興推進事業										
評価番号	事業番号	事業名	平成25年度 決算見込額 (千円)	事業の状況						
		事業主体等	特記事項	事業概要			平成25年度の実施状況・成果			
1	① 01	警察本部機能強化事業	338,537	警察本部庁舎の一部が損傷しており、万全な警察体制を確保する必要があるため、「庁舎機能復旧」、「庁舎機能拡充」及び「庁舎機能再生・高度化」を柱として取組を進める。			<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎機能復旧工事を完了した。また、継続して庁舎機能拡充のための工事を着工した。 ・警察本部庁舎低層棟災害復旧工事(完了) ・中央監視装置更新工事(全4期工事のうち第3期工事着工) ・本部庁舎課室改修工事(着工) 			
		警察本部 装備施設課	ビジョン 関連:取組25	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)		
	緊急		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
		妥当	成果があった	概ね効率的	維持	-	137,771	77,775	338,537	
2	① 02	警察施設機能強化事業	569,667	多数の警察施設が流出又は損壊の壊滅的被害を受けるなどしており、治安維持の体制整備が必要なため、警察施設の早期機能回復・強化を図る。			<ul style="list-style-type: none"> ・使用不能となった警察施設の本設に向けた取組を推進した。 ・気仙沼警察署建設用地造成工事(着工) ・気仙沼警察署建設工事基本・実施設計(完了) ・被災駐在所本設の設計(2件) ・仮庁舎等土地建物賃借(19件) 			
		警察本部 警務課ほか	ビジョン 関連:取組25	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)		
	緊急		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
		妥当	ある程度成果があった	概ね効率的	維持	-	567,075	68,371	569,667	
3	① 03	各所増改築事業	30,799	防犯・防災に配慮した安全・安心な地域社会の構築を図るため、一部損傷等被災した警察施設の増改築を行う。			<ul style="list-style-type: none"> ・一部損傷等被災した警察施設の復旧工事を完了した。 ・H25復旧完了施設数2か所 			
		警察本部 装備施設課	ビジョン 関連:取組25	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)		
	緊急		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
		妥当	成果があった	効率的	廃止	-	189,682	287,973	30,799	
4	① 06	警察署非常用発動発電設備強化事業	43,946	警察署に設置されている非常用発動発電設備は、老朽化が著しく容量が小さいことから、災害に強い警察施設の構築を図るため、容量がより大きな非常用発動発電設備を早期に整備する。			<ul style="list-style-type: none"> ・非常用発動発電設備を更新整備した。 ・H25整備施設 河北警察署 			
		警察本部 装備施設課	ビジョン ※取組31	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)		
	緊急		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
		妥当	ある程度成果があった	概ね効率的	維持	-	-	35,779	43,946	

5	緊急	① 07	各種警察活動装備品等整備事業	6,071	事業概要 治安維持に必要な基盤の早期回復を図るため、使用不能となった警察装備資機材及び大規模災害発生時等の各種活動に必要な装備品について早急に補充・整備する。	平成25年度の実施状況・成果 ・小型撮影装置 9台 ・ヘリコプターテレビシステム相互映像送受信装置更新 ・レスキューチェーンソー2台、テント2張、ポータブルLED投光器2台、ウエットスーツ1着、船外機2台						
		警察本部 捜査第三課、警備課、機動隊	ビジョン 関連:取組31	事業の分析結果 ①必要性 ②有効性 ③効率性 次年度の方向性				年度別決算(見込)額(千円) H22 H23 H24 H25				
					妥当	成果があった	効率的	維持	-	215,688	135,726	6,071
6	緊急	① 09	警察職員宿舍整備事業	45,559	事業概要 震災により多くの宿舍が損壊し、沿岸部の宿舍にあつては、流出・水没等により使用不能となったことから、職員の生活基盤を確保するとともに、災害に強い宿舍の再生のため、被災宿舍の復旧工事及び仮設宿舍の建設を行う。	平成25年度の実施状況・成果 ・被災した職員宿舍の復旧工事を完了した。 ・H25復旧完了宿舍 根岸職員宿舍						
		警察本部 装備施設課	ビジョン 関連:取組25	事業の分析結果 ①必要性 ②有効性 ③効率性 次年度の方向性				年度別決算(見込)額(千円) H22 H23 H24 H25				
					妥当	成果があった	概ね効率的	維持	-	868,435	17,869	45,559
7	緊急	① 10	食糧等備蓄事業	3,071	事業概要 今後の災害に備え、捜索部隊が円滑に活動できるよう非常食と水を整備する。	平成25年度の実施状況・成果 災害発生時の警察活動を円滑に行うため、備蓄食糧等の拡充を図った。 ・備蓄食糧7,940食 ・非常用保存水2,646本						
		警察本部 警備課	ビジョン 関連:取組31	事業の分析結果 ①必要性 ②有効性 ③効率性 次年度の方向性				年度別決算(見込)額(千円) H22 H23 H24 H25				
					妥当	成果があった	効率的	維持	-	-	-	3,071
8	緊急	② 02	緊急輸送交通管制施設整備事業	116,716	事業概要 災害時における緊急交通路の円滑化や迅速な救援活動を支援する交通環境を確保するため、交通管制センター端末機器や交通信号機の付加装置等を整備する。	平成25年度の実施状況・成果 ・交通信号機用電源付加装置(自起動式)設置19基 ・交通信号機用電源付加装置(リチウムイオン電池式)設置50基						
		警察本部 交通規制課	ビジョン ※取組31	事業の分析結果 ①必要性 ②有効性 ③効率性 次年度の方向性				年度別決算(見込)額(千円) H22 H23 H24 H25				
					妥当	成果があった	効率的	拡充	-	35,668	114,343	116,716
9	緊急	② 03	震災に強い交通安全施設整備事業	136,201	事業概要 折損しない鋼管製信号柱への改良や信号灯器の軽量化のための信号灯器のLED化改良等、震災時に対応可能な交通安全施設を整備する。	平成25年度の実施状況・成果 ・信号柱の鋼管柱化改良113本 ・信号灯器のLED化改良344灯						
		警察本部 交通規制課	ビジョン 関連:取組31	事業の分析結果 ①必要性 ②有効性 ③効率性 次年度の方向性				年度別決算(見込)額(千円) H22 H23 H24 H25				
					妥当	成果があった	効率的	拡充	-	56,265	171,526	136,201
10	緊急	② 04	震災に強い交通管制センター整備事業	451,129	事業概要 震災復興等における交通の安全で円滑な道路環境を実現するため、最新の情報通信技術を活用した震災に強い交通管制センターを構築します。	平成25年度の実施状況・成果 ・交通状況表示板更新 一式 ・交通管制端末装置高度化改良 一式 ・交通監視用テレビ装置設置 2基						
		警察本部 交通規制課	ビジョン 関連:取組31	事業の分析結果 ①必要性 ②有効性 ③効率性 次年度の方向性				年度別決算(見込)額(千円) H22 H23 H24 H25				
					妥当	成果があった	効率的	拡充	-	-	363,636	451,129

11	緊急	⑤ 01	生活安全情報発信事業	2,098	事業概要 関係機関と連携した被災地に居住する住民の安全安心の確立が求められていることから、避難所、応急仮設住宅、学校等を対象に、各種広報手段を活用し、防犯情報や生活安全情報等の提供を行う。	平成25年度の実施状況・成果 ・防犯チラシ、ポスター等の作成(11種, 352,000部) ・県警作成の地域安全ニュース「きずな」の発行(23件) ・みやぎsecurityメールによる防犯情報の発信(819件) ・県警ホームページによる情報提供					
		警察本部	ビジョン	事業の分析結果		年度別決算(見込)額(千円)					
		生活安全企画課	関連:取組25	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	効率的	維持	-	1,029	1,313	2,098
12-1	緊急	⑤ 02	地域安全対策推進事業	2,239	事業概要 安全・安心な地域社会を構築するためには、被災地を中心としたパトロール活動の強化と不在交番の解消を図る必要があることから、その役割を担う交番相談員を増員する。また、県内全域における地域の安全対策に向け、警察安全相談員及び交番相談員の適切な配置を進める。	平成25年度の実施状況・成果 ・交番相談員の配置(30人)(平成25年度1人増員) ・交番相談員の活動件数は、各種相談、地理案内、遺失・拾得の受理など(81,172件) ・平成25年度は、仙台東警察署東仙台交番に1人増員配置され、地域のパトロールの強化と不在交番の解消に効果があった。					
		警察本部	ビジョン	事業の分析結果		年度別決算(見込)額(千円)					
		地域課	取組25	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	効率的	拡充	-	2,232	4,471	2,239
12-2	緊急	⑤ 02	地域安全対策推進事業	-	事業概要 安全・安心な地域社会を構築するためには、被災地を中心としたパトロール活動の強化と不在交番の解消を図る必要があることから、その役割を担う交番相談員を増員する。また、県内全域における地域の安全対策に向け、警察安全相談員及び交番相談員の適切な配置を進める。	平成25年度の実施状況・成果 ・警察安全相談員の配置(県内10警察署に10人配置) ・警察安全相談員による相談の受理件数(2,974件)					
		警察本部	ビジョン	事業の分析結果		年度別決算(見込)額(千円)					
		県民相談課	取組25	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	-	拡充	-	-	-	-
13	緊急	⑤ 03	防犯ボランティア活動促進事業	非予算的手法	事業概要 被災地における安全で安心な生活の基盤となる地域治安組織を強固にするため、防犯ボランティア団体の結成及び防犯リーダーの育成を促進し、応急仮設住宅、復興住宅、学校及び地域を対象に、ボランティア活動への支援を行う。また、被災し活動が停止、又は活動を縮小したボランティア団体の活動再開等を支援する。	平成25年度の実施状況・成果 ・仮設住宅における防犯活動の中心となる「地域防犯サポーター」を委嘱(350人委嘱) ・仮設住宅における自主防犯ボランティア団体の結成(75団体) ・地域安全ニュース「きずな」の発行(23件) ・みやぎsecurityメールによる防犯情報の発信(819件)					
		警察本部	ビジョン	事業の分析結果		年度別決算(見込)額(千円)					
		生活安全企画課	取組25	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	ある程度成果があった	-	維持	-	-	-	-

14	緊急	③ 04 安全・安心まちづくり推進事業	5,760	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
				地域のコミュニティ活動の担い手が被災したことにより、これまで住民や事業者等が主体的に取り組んできた安全・安心まちづくり活動の停滞が懸念されることから、安全・安心まちづくり団体に対し支援等を行う。				<ul style="list-style-type: none"> 被災地で活動する防犯ボランティア団体への活動用品の貸与(8団体) 犯罪のないみやぎ安全・安心まちづくり活動リーダー養成講座の開催(2回) 地域安全教室への講師派遣(2回) 犯罪のないみやぎ安全・安心まちづくりフォーラムの開催(1回) 犯罪予防のためのリーフレットの作成・配布(2回) 			
15	緊急	③ 05 防災リーダー養成事業との連携事業	-	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
		環境生活部 共同参画社会推進課	ビジョン 取組25	妥当	ある程度 成果が あった	概ね効率的	拡充	-	1,411	4,213	5,760
16	緊急	③ 06 防災計画策定・防災訓練等開催事業	-	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
				今後の震災に備えるため、各自治体の防災計画、防災訓練の企画及び実施への参画並びに県庁内各部署、各自治体、消防等防災関係機関の災害担当者による定期的な会議に参画する。				<ul style="list-style-type: none"> JR東日本との合同の災害対策訓練参加 仙台市総合防災訓練参加 「みやぎ県民防災の日」災害警備訓練の実施 9.1総合防災訓練参加 石油コンビナート防災訓練参加 大規模地震総合防災訓練参加(政府主催) 			
		警察本部 警備課	ビジョン 関連:取組33	妥当	成果が あった	-	維持	-	-	-	-
決算(見込)額計			1,751,793								
決算(見込)額計(再掲分除き)			1,751,793								